

監査報告書		被監査部門：高知高陵交通株式会社 経営管理部門、現業部門(本社、梶原営業所) (管理者：)		監査番号：
				監査年月日： 平成30年6月20日・21日
監査範囲：安全管理体制全般				
監査チーム 監査リーダー： 監査員：				
打合せ	開催日時	出席者		特記事項
開始打合せ	平成30年6月20日 11:00～11:30			
終了打合せ	平成29年6月21日 15:30～16:00			

1. 監査の目的

安全管理体制が適切に確立され、実施され、維持され、機能していることを確認する。

2. 監査全般の講評・所見

今回、平成30年4月1日付で安全管理規程を見直し、第2章 輸送の安全を確保するための事業の運営の方針、第3条(輸送の安全に関する基本的な方針)において、関係法令等の遵守、安全最優先の原則、安全管理体制の継続的改善等の実施について、明文化している。

慢性的な人員不足は、依然、解消するまでに至らず、貸切バスの受注・庸車調整や、所長自らの乗務が常態化している。

3. 重点監査事項の所見

前回の監査で、是正/改善が必要な3点を重点監査項目に設定した。

①安全方針の理解度・浸透度の把握については、「運輸マネジメントアンケート」を全員に実施し、輸送の安全を確保するための事業運営について、その理解度・浸透度の把握に努めた。

②安全重点施策(安全目標・取組計画)の見直しについては、平成30年度は、より具体的な6つの施策を設定し、取り組むこととした。

③マネジメントレビューの実施については、年度末3月の社長・両所長のミーティング(月1回の定例開催)において、平成29年度を振り返るとともに、30年度の取り組みについて検討を行っている。

4. 前回監査の改善事項

3. 重点監査事項の所見と同じ

5. 監査の結果

安全に関する投資計画として、ほぼ全車両へのドライブレコーダー装着が完了した。

一方、事故、ヒヤリ・ハット情報等の収集と再発・未然防止に向けた取り組みや、教育・訓練・研修等の計画的な実施といった面での遅れ・弱さが散見されたものの、運輸安全マネジメント制度への取り組みは、年々その精度が向上している。

6. フォローアップ監査の予定

監査対象不具合等：特に重大な不備等はないため、フォローアップ監査は実施しない。

監査予定日：

監査対象部署：

7. 是正/改善措置の確認および評価ならびにフォローアップ監査の結果

8. その他特記事項等

承認	確認	作成
平成30年7月4日	平成30年7月4日	平成30年6月27日
代表取締役社長	安全統括管理者	監査リーダー
戸田 政克		